

科目名	数学Ⅱ	単位数	4	学年	2	コース	理系	必選別	必修
教科書	数研出版 改訂版 新編 数学Ⅱ			副教材	数研出版 Study-Upノート 数学Ⅱ				

1. 学習の到達目標

いろいろな式，図形と方程式，三角関数，指数関数，対数関数及び微分積分の考え方について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。

2. 学習内容

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 式と証明	式と計算	展開，因数分解，二項定理， 整式の割り算，分数式，恒等式	中間審査
5	第2章 複素数と方程式	等式・不等式の証明 複素数と 2次方程式の解	等式・不等式の証明 複素数，2次方程式の解， 解と係数の関係	
6	第3章 点と直線	高次方程式	剰余の定理，因数定理，高次方程式	
7	図形と方程式	円	直線上・平面上の点，直線の方程式 円の方程式，円と直線，2つの円	期末審査
9	第4章 三角関数	軌跡と領域 三角関数	軌跡と方程式，不等式の表す領域 角の拡張，三角関数のグラフ・性質 三角関数を含む方程式・不等式	中間審査
10	第5章 指数関数	加法定理 指数関数	加法定理とその応用 指数の拡張，指数関数	
11	第5章 対数関数	対数関数	対数とその性質，対数関数，常用対数	期末審査
12	第6章 微分法，積分法	微分係数と導関数 関数の値の変化 積分法	微分係数，導関数，接線の方程式 関数の増減，極大極小，グラフの応用 不定積分，定積分，面積	学年末審査

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	各学習内容の考え方に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
数学的な見方・考え方	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，各学習内容における数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	各学習内容において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	各学習内容における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。

4. 評価の方法

年5回の定期審査や平素の取り組み等をもとに，上記の4観点に基づき，総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

理系の皆さんは計算力を向上，維持することは必須です。家庭や学校の区別無く計算練習を繰り返してください。また，数学Ⅱだけでなく，数学Ⅰ・Aの復習も必要です。さらに，問題の解答を記述する訓練も必要です。自分の考えを正確に相手に伝えるには何が必要か，何に注意しなければいけないかなど各自がしっかり考えておくことです。

授業は1回で2～3頁ほど進む予定です。予習，復習など家庭学習を徹底させる必要があります。また授業を欠席しないよう体調管理にも気を配りましょう。